

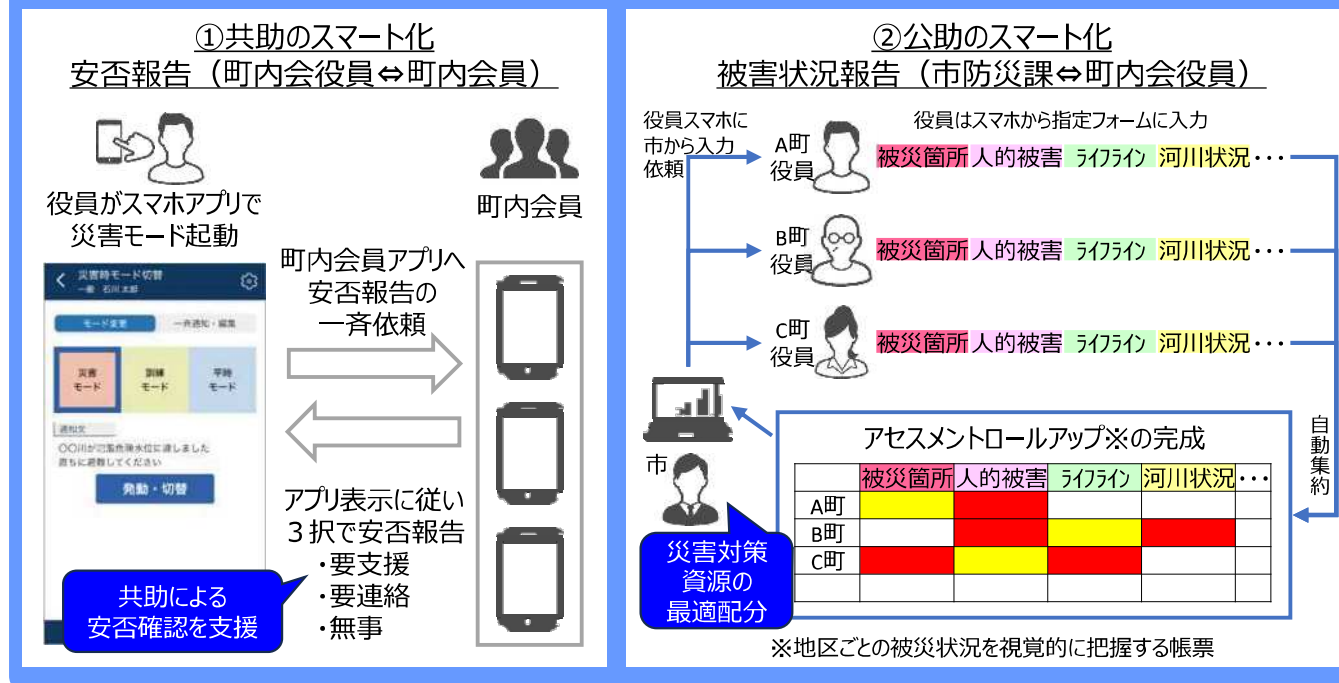
## ■全体概要

- 災害発生時における「共助のスマート化」と「公助のスマート化」を推進し、被害最小化や支援迅速化につなげる。
- 共助のスマート化：市全体で加入率約90%の“町内会”を共助の要と位置付けており、有事の際は町内会にてアプリ活用のスマート安否確認を行う。
- 公助のスマート化：市保有の災害対策資源を最適配分するため、信頼性の高い町内会役員からの被害情報をアプリ経由でスマート報告を得る。

## ■本事業概要

本市では、2023年度から町内会が普段使いできる電子回覧板アプリの試験導入に着手している。2024年度の試験導入拡大に伴い、本事業にて一部町内会でのこのアプリを活用した実証実験を行う。

### 【実証内容（防災訓練と連携）】



### 【検証の視点】

町内会現場にてスムーズに運用可能か

先進取組アセスメントロールアップは有効に機能するか

集約したデータを防災資源の最適配分に活用可能か

## ■推進体制

＜岡崎スマートコミュニティ推進協議会＞

- |   |                              |                               |
|---|------------------------------|-------------------------------|
| 【全体統括】<br>岡崎市<br>デジタル推進課<br>企画課<br>防災課<br>市民協働推進課 | 【プロマネ・アプリ関係】<br>ミクスネットワーク(株) | 【防災現場関係】<br>NPO岡崎まちそだてセンター りた |
|---|------------------------------|-------------------------------|

## ■スケジュール

	本事業	独自
R5年度	—	町内会アプリ試験導入開始
R6年度 1Q	実証準備 ・事業詳細計画 ・対象エリア決定	町内会アプリ試験導入拡張
R6年度 2Q	・アカウント準備 ・フォーム構築	
R6年度 3Q	実証実験	
R6年度 4Q	効果測定 報告書作成	